

土砂崩れを防げ

ハイパワーフェンス協会

高岡・富山鉦山で実証実験

土砂崩れを防ぐ柵の
開発・普及を行うハイ
パワーフェンス協会は
10日、高岡市岩坪の富
山鉦山の敷地内で、豪
雨や地震による崩壊土
砂を想定した特殊工法
の柵の実証実験を行
い、効果を確認した。
人工的に土砂を流下
させる実験は多額の費
用と手間がかかるため
国内では初の試み。会
場には同協会の会員や
設計コンサルタントを
中心に約200人が集
まり、実験を見守った。

実験に用いたのは同
協会が開発したHEP
(ハイパワーアースフ
ェンス)工法の柵で、



金網と支柱には鉄とコ
ンクリートが使用され
ている。
実験では高さ25㍎、
傾斜50度の斜面上部に
急傾斜地への設置を
を国や県に報告し、柵
普及していく考えだ。

土砂流下装置が設置さ
れ、約100㍎の土砂
を高さ3㍎、幅18㍎の
柵へ一斉に流下させ
た。柵が土砂を受け止
め、実験の成功を確認
すると関係者はほっと
した表情を浮かべた。
同協会では実験結果
を国や県に報告し、柵
普及していく考えだ。

実験で効果を確認した、流下する土砂を受け止めるHEP工法の柵
—高岡市岩坪